



抵抗分漏れ電流を常時監視!!
絶縁管理の高度化・効率化に貢献します。



業界初



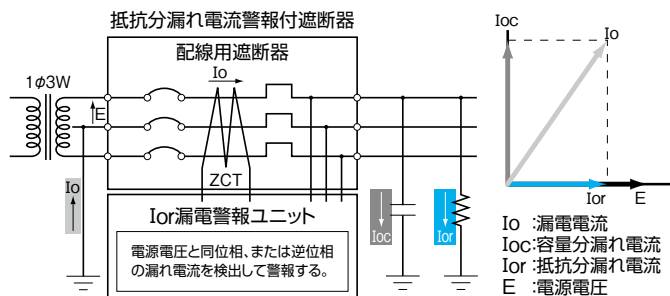
回路には、対地静電容量による容量分漏れ電流と回路の絶縁劣化による抵抗分漏れ電流が存在します。抵抗分漏れ電流は、感電や火災に至る場合があります。

漏電遮断器や漏電継電器は、本来、抵抗分漏れ電流を検出すべきですが、実際には抵抗分漏れ電流だけではなく、容量分漏れ電流が合成された漏電電流を検出します。そのため、容量分漏れ電流が多い回路では感度電流を鈍くせざるを得ず、絶縁劣化を高感度に検出できません。

本製品は、抵抗分漏れ電流をマイコン演算回路で常時監視して、漏電警報を行う「Ior漏電警報ユニット」を遮断器と一体化したものであり、従来にない、より安全な機能を付加した新たな遮断器です。

動作原理図

電源電圧と同位相または逆位相の漏れ電流を検知して警報します。



安全

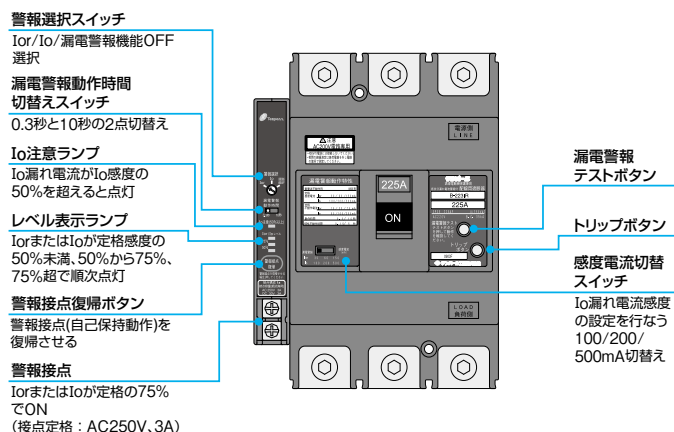
容量分漏れ電流が多い回路においても、絶縁劣化を高感度に検出することが可能です。たとえば、漏電電流(I_o)の感度を100mAに設定した場合、抵抗分漏れ電流(I_{or})では30mAで漏電警報するので、回路の絶縁劣化を早期に・精度良く発見でき、感電・漏電火災防止がよりの確に行なえます。

高効率

抵抗分漏れ電流の常時監視が簡単に行なえるので、回路の保守・点検業務の効率化が図れます。

- ①特別な計測器を用いることなく、抵抗分漏れ電流を常時監視できます。
- ②検出した漏れ電流の大きさをLEDで3段階にレベル表示するので、目視で容易に漏電の大きさが読み取れます。

各部の名称とはたらき



小型、省施工

従来の漏電継電器は、ZCTや遮断器を組み合わせるための配線工事が必要でした。本製品は、漏電警報器やZCT、遮断器を一体化し小型化を図ったものです。特別な配線工事も不要ですので、設置スペースを問わず簡単に取り付けできます。

多様な使い方が可能

- ①本製品をキュービクル内の分岐回路に設置し、「接点入力を持つ通報装置」(絶縁監視装置、デマンド管理装置など)と組み合わせると、分岐回路の抵抗分漏れ電流の監視や地絡回路の特定など、よりきめ細かな絶縁監視システムが構築できます。
- ②本体の遮断器に電圧引外し装置付のものを使用すれば、抵抗分漏れ電流を検出して回路を遮断することができます。

注意事項

- ①警報選択スイッチを「Ior」側にあわせた場合、単相回路および、一相を直接接地した三相3線式回路(デルタ結線回路/スター結線の一相接地電路)、灯動共用のV結線の電灯側電路などにおいて使用可能です。**スター結線の中性点接地電路/灯動共用のV結線の動力側電路では使用できません。**
- ②周波数が50/60Hz以外の電路や周波数の不安定な発電機電路などでは使用できません。
- ③接地相は必ず遮断器の中極に接続し、電圧相(200V)を遮断器の左右極に接続してください。

A
パールテクト
Eシリーズ
安全ブレーカ
ボックスブレーカ
単3中性線欠相保護付
太陽光発電システム用
電気温水器用
ミニニコル
F K シリーズ
W シリーズ
漏電警報付
無負荷時遮断機能付
スイッチ見張番
外形寸法図
生産終了品